

# 謹賀新年

ほんの 1 年前にはまるで想像できていなかった未来に立ち、これからの世界と自分たちのこれからの思い描きます。

子どもたちも家族も顔の半分近くを覆いながら、自由をたくさん制限されて、日々を過ごすようになりました。いましばらくはこんな状況が続きそうです。

これまでも私たちの仕事は生きづらい人々の自由を支えるためにありました。そのためには、目には見えないものとうまく付き合っていかなければいけません。

常識や規範、場の空気、過去の記憶、将来への不安。自分の自由を奪っているものを自覚できる機会は少ないです。今はそれが少しだけわかりやすく気づかれやすくなっているだけなのではないでしょうか。

子どもや家族が、目に見えないものから正しく解き放たれ、日々の行動や生き方を判断していけるように支えていきたいと思います。

本年もよろしく願い申し上げます。

令和 3 年 新春



昨年「いろいろな子どもと家族のための相談センターそら」をはじめました。